

日本食糧新聞

日本食糧新聞社
 東京都中央区八重洲1-9-9
 東京建物ビル(〒103-0028)
 www.nissyoku.co.jp
 編集・広告部03(3432)3103
 印刷部03(3432)2927
 東京 汐留区西新橋2-21-2
 第一番ビル(〒105-0003)
 【支社】北海道011(866)0721/
 東北022(225)2721/新潟025
 03(3432)5700/長野026(228)
 5520/静岡054(289)5802/中部
 052(87)71318/四国0876(63)4
 4181/沖縄098(223)2535/九州
 092(231)1780
 購読料 半年30,882円
 (税別前金)
 ©日本食糧新聞社2015年

中小外食の進出支援

シンガポール成功モデルに

クールジャパンプン機

食品、ファッション、アニメなどの産業の海外展開を支援する官民のファンド(海外需要開拓支援機構)は、単独での海外進出が難しかった中小外食企業の足掛かりとなる基盤づくりで、外食産業の海外市場拡大を支援する方針だ。アジア有数の繁華街であるシンガポールのオーチャード地区のシンガポール伊勢丹オーチャード店の4階で、今年10月のオープンを目指しているラードコート(飲食店の商業集積)「ジャパンプン・タウン(仮称)」での取組みを成功させ、それをモデルとしてアジアの他地域への水平展開を目指す。(川崎博之)

食、ラーメンなどの日・洋食、ハンバーガー、ピザ、カレー、うどん、そば、うどん、焼鳥、丼などの日本食、ラーメンなどの日・洋食、ハンバーガー、ピザ、カレー、うどん、そば、うどん、焼鳥、丼などの日本食、

モデルとなるジャパンプン・タウンの取組みは、一般社団法人日本外食ベンチャー海外展開推進協会(JAOP、吉川誠人代表理事、東京都港区六本木)のJAOP加盟の外食ベンチャー企業15~20店で海外商業施設へ進出する活動の支援が軸となる。

JAOPでは、シンガポール伊勢丹オーチャード店でのジャパンプン・タウンの10月オープンへ向けて3月末ごろまでに出店テナントを決める。このため、そば、うどん、焼鳥、丼などの日本

クールジャパンプン機

は、海外展開に乗り出す民間企業や民間企業のコンソーシアムなどへ、合弁で設立する事業会社への出資を通じたりスクマナーを供給するほか、事業会社の事業・経営を支援する機能も今後約20年間担う。

このため、政府から300億円、みずほ銀行や大和証券グループなど14年12月までに有力企業22社から合計106億円の出資を受け



本社などの金融機関、三越伊勢丹ホールディングスなどの百貨店、電通などの広告代理店